

# 2019 菅公カップ第46回島根県ミニバスケットボール大会

## 開催要項

1. 主催 (一財) 島根県バスケットボール協会
2. 共催 山陰菅公学生服 株式会社
3. 主管 (一財) 島根県バスケットボール協会U-12部会
4. 後援 島根県教育委員会 公益財団法人島根県体育協会 松江市教育委員会  
雲南市教育委員会 公益財団法人松江体育協会 山陰中央新報
5. 協賛 朝日新聞松江総局
6. 期日 令和元年11月30日(土)・12月1日(日)・12月7日(土)
7. 会場 11月30日(土)・鹿島総合体育館、東出雲体育館  
島根町体育館、島根小学校体育館  
12月1日(日)・鹿島総合体育館、東出雲体育館  
12月7日(土)・雲南市三刀屋文化体育館アスパル  
**【フレンドリーマッチの部】**  
11月30日(土) 鹿島総合体育館、東出雲体育館、島根町体育館の2会場  
**※30日と1日に付いては駐車場に限りがある為、各チーム内で協議し乗り合わせにて会場へお越しください。**
8. 出場資格 8月4日(日)までにJBAへ登録申請(チーム、個人)を行い8月17日(土)までに、本大会への参加意思を示したチーム。  
**【全国予選の部】**  
・8名以上の選手登録をしたチームの参加を認める。8名に満たないチームは全国予選の部には出場できない。  
**【フレンドリーマッチの部】**  
・8名以上の選手登録をしたチームの参加を認める。但し、競技者が8名に満たないチームで5名以上での出場も認める

## 9. 競技・競技方法

- ・男子4 2チーム、女子4 1チームのトーナメント制により1位から4位までの順位を決定する。※全国予選の部
- ・延長戦は、2分のインターバル後、3分の延長戦を必要回数行う。※全国予選の部
- ・リンク戦とし、(男子3チームの2リンク、女子3チーム1リンク) 2試合できるよう組み合わせ、勝ち上がりは無しとする。※フレンドリーマッチの部
- ・第4クォーター終了時同点の場合、引き分けとする。※フレンドリーマッチの部
- ・10人未満の選手で参加するチームは、全員ができるだけ多くのクォーターに出場する事とする。※フレンドリーマッチの部

## 10. 競技規則 (公財) 日本バスケットボール協会バスケットボール競技規則による。

### 10・1 ベンチ構成

- ・ベンチ構成は、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、その他1名、プレイヤーは8名以上15名以内の計19名以内とする。(コーチ、アシスタントコーチ、その他は小学生不可) ※全国予選の部
- ・ベンチ構成は、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、その他1名、プレイヤー5名以上15名以内の計19名以内とする。(コーチ、アシスタントコーチ、その他は小学生不可) ※フレンドリーマッチの部

### 10・2 競技規則内容

- ・ベンチで中心となって指導するコーチは、必ずカードホルダーにてコーチ登録証(E-1以上)を首にかけること。(ベンチ入りする指導者に必ずE-1以上のライセンスを所持する者がいること。また、ベンチ入りする全ての指導者はJBA公認コーチライセンス取得者が望ましい。全てのJBA公認コーチライセンス取得者は、カードホルダーにてコーチ登録証を首にかけること。)
- ・試合に関わる全ての関係者が「クリーンバスケット・クリーンザゲーム」の実現に向けて、努力する事。
- ・全試合にマンツーマンコミッショナーを置く。(2019年度マンツーマンディフェンスの基準による) ※コミッショナーは指導者ライセンス(ID)を保有した者に限る。
- ・プレイヤーの交代は第4クォーターと延長時間では次のときにどちらも交代できる。  
※タイムアウトがあったとき。  
※審判が笛を吹いてゲームクロックがとまったとき。  
※ファウル後審判がテーブルオフィシャルに伝達を終えたとき。  
※シューターが最後のフリースローを成功したとき。
- ・24秒/14秒ルールを適用する。
- ・全国予選の部、1日目は、各クォーター5分(5-1-5-3-5-1-5)  
2、3日目は各クォーター6分(6-1-6-5-6-1-6)とする。
- ・フレンドリーマッチの部は各クォーター5分(5-1-5-3-5-1-5)とする。
- ・全国予選の部は、全てのゲームで同点の場合は、延長戦を必要な回数行う。

- ・第1クォーター出場選手は、試合開始前速やかにチェックする。
- 第2クォーター以降については、前クォーター終了直後に行う。
- ・前のゲームが遅れた場合、次の試合開始は前のゲーム終了後8分後に開始する。
- ・初日ゲームのハーフタイムにおいて、次に試合を行うチームのアップは行わない。
- 各チームでアップを行うこと、但し各会場の使用規定を順守すること。
- 2日目以降は次の試合のチームはハーフタイムの後半開始1分前までアップを行っても良い。
- ・TOには必ずチームの指導者もしくは、ルールを理解している者がついて指導すること。
- (TO割り当ては、後日配信する)

1.1・参加料      ・全国予選の部、フレンドリーマッチの部に出場するチームは、15,000円をチームJBAより支払入力し令和元年10月31日(木)までに入金すること。

1.2・開閉会式      開会式は行わない、閉会式はベスト4に残ったチームは全チーム参加のこと。

1.3.その他      ・参加にあたり、事務局より送付の関係文書を確認のうえ、当日の運営等、大会本部の指示を守ること。

・チーム責任者及び監督は、応援マナーや審判の判定に対しての言動等、充分指導、徹底し臨む事。

・参加する選手は障害保険に加入のうえ、参加すること。当日は応急手当以外責任を負わない。

・弁当については業者を紹介するが、注文等は別紙の注文書にて各チームにおいて手配をおこなうこと。

宿泊先に付いても各チームにおいて手配すること。主催側から紹介、斡旋は行わない。

・今大会の優勝チームは令和2年3月下旬に東京都にて開催される予定の第51回全国ミニバスケットボール交歓大会又は、令和2年1月11日(土)～1月13日(月)に開催される、第39回中国ミニバスケットボール交歓大会(鳥取大会)に出場すること。その際、上位チームより上記大会参加への意思確認を行い、決定する。